

エコトピア泉北



マスコットキャラクター
「とろすけ」



シンボルマーク

泉北環境整備施設組合

〒592-0013 高石市取石6丁目9番40号
TEL(0725) 46-0150 FAX(0725) 46-0800

泉北クリーンセンター

〒594-0001 和泉市舞町87番地
TEL(0725) 41-2030 FAX(0725) 41-2115
ホームページ
<http://senbokukankyo-ichikumi.org>

エコトピア泉北

〒594-0001 和泉市舞町87番地
TEL(072) 273-3331 FAX(072) 273-3332
(お問い合わせは泉北クリーンセンターにお電話下さい。)



泉北環境整備施設組合

ようこそエコトピア泉北へ



ごあいさつ

私たちが生活することで発生するごみを減量することは、環境問題を考える上で必要不可欠となっています。その中でも資源ごみの再利用を進めていくこと、また、限られた資源を有効活用し私たちの生活環境を守ることが循環型社会の構築につながります。そうした中、泉北環境整備施設組合の資源化センターである「エコトピア泉北」が完成しました。

この施設は「循環型社会の形成に貢献する施設」・「安全、環境、経済性に配慮した施設」・「地域と共生する施設」の3つの方針を掲げ、泉大津市、和泉市、高石市から排出された資源ごみの中から、缶、ビン、ペットボトル、容器包装プラ等を選別しリサイクルを推進する施設です。また、周辺環境に配慮し様々な対策を施した、環境にやさしい施設となっています。

今後も市民の皆様と共に、持続可能な社会を目指して一層、効率的な廃棄物行政を推進してまいります。

泉北環境整備施設組合



手選別で資源の再利用

(太陽光の利用)



18、スチール缶を圧縮成型した成果品

19、ペットボトル圧縮梱包した成果品

20、カレットヤード

カレットを色ごとに回収するために色毎にストックヤードを設けています。

21、脱臭装置

各所で吸引した臭気をフィルタと活性炭を通し除去した後、排気します。

22、太陽光発電パネル

太陽光を利用して発電を行い、場内で照明用の電力として利用します。

23、外観

3市の象徴である3羽の水鳥が外壁に描かれ、協調の輪が表現されています。

22



23



●ペットボトルの出し方

キャップを外し、ラベルを取ります。軽く中を洗い、つぶして透明、半透明袋に入れて出してください。

分ければ資源、混ぜればゴミ、ごみの分別収集にご協力ください。

出し方



※カン・ビンは入れないでください。リサイクルできません。

主な設備

(選別・圧縮・梱包して再利用)



- 8、手選別室1
取り出された資源物は、人の手により異物を取り除きます。
- 9、手選別室2
異物を取り除いた資源物は、人の手によりピンを色別に選別します。
- 10、磁選機：磁石を使って資源物の中からスチール缶を回収します。
- 11、不燃物選別室
人の手により、資源物が回収されたガレキから瀬戸物を回収します。
- 12、アルミ選別機
永久磁石を高速回転させることで磁界を発生させて、資源物の中からアルミ缶のみを選別します。
- 13、アルミ缶圧縮機：アルミ缶を圧縮成型します。
- 14、プラ容器圧縮梱包機
手選別されたプラ容器類を、運搬・保管しやすいように圧縮梱包します。
- 15、ペットボトル圧縮梱包機・スチール缶圧縮機
手選別されたペットボトルを、運搬・保管しやすいように圧縮梱包します。
- 16、プラ容器類を圧縮梱包した成果品
- 17、アルミ缶を圧縮成型した成果品



施設概要

- 施設名称：エコトピア泉北
- 所在地：和泉市舞町87番地
- 敷地面積： 5,401㎡
- 建築面積： 2,348㎡
- 延床面積： 3,182㎡
- 処理能力： 25t/日

処理対象ごみ・・・ビン、缶、乾電池類、
せともの、ガラス類、
ペットボトル、トレイ、
プラスチックボトル及び
プラスチック製容器包装

処理能力・・・・・・25t/日(5h)
ビン・缶ライン・・・・・・17t/5h
プラ容器ライン・・・・・・8t/5h

施設配置図





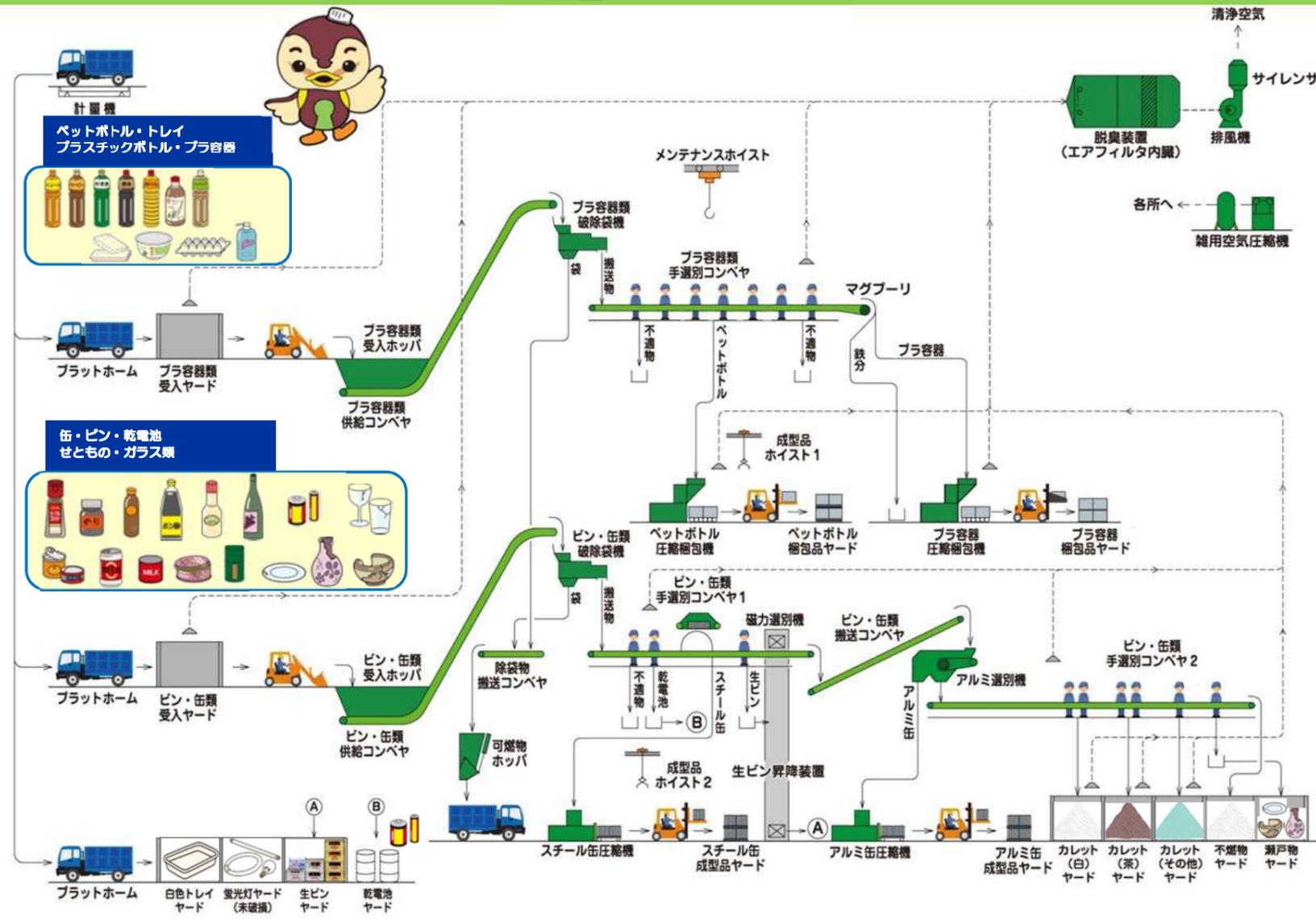
- 1、プラットフォーム
搬入された資源物は、ここからそれぞれのラインへ送ります。
- 2、供給コンベヤ
資源物を破砕袋機に送ります。
- 3、破砕袋機
資源物の袋を破き、袋を自動除去します。
- 4、可燃物ホッパー
取り除いた袋は、可燃物として、隣接するクリーンセンターで焼却します。
- 5、中央制御室
設備の運転操作や監視管理をコンピュータで行います。



- 6、見学者窓
階段室の中から場内を見学できます。
- 7、見学者用通路
室内の通路から中央制御室や手選別室が見学できます。



処理フローシート



●ビン・缶ライン
ビン・缶ラインは、プラットフォームからショベルで受入ホッパに投入された後、破砕袋機で袋を破り取り除き、袋から出された資源物（ビン・缶・乾電池・せともの・ガラス等）は、磁選機でスチール缶を回収し、アルミ選別機へ送り、アルミ缶を回収します。その後、その他のビン類については手選別ラインにて色ごとに分別され、ストックヤードで貯留されます。

●プラ容器ライン
プラ容器ラインは、プラットフォームからショベルで受入ホッパに投入された後、破砕袋機で袋を破り取り除き、袋から出された資源物は、手選別ラインにてペットボトルを選別・回収します。選別された資源物については、ペットボトルとプラ容器として圧縮梱包し、リサイクルします。